

# 2018年度第2四半期 決算説明(総括)

2018年8月9日

株式会社 クラレ

## 2018年度上期実績

	18年度上期実績	前年同期実績	増減
売上高	3,014億円	2,513億円	500億円(19.9%)
営業利益	382億円	378億円	4億円(1.1%)
経常利益	365億円	365億円	0億円(▲0.1%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	238億円	242億円	▲4億円(▲1.6%)

### 参考

円/ドル	109	112
円/ユーロ	132	122
国産ナフサ価格 (千円/kl)	48	40

\* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、前年同期の数値は遡及修正しています。

\* 18年度上期の実績にはCalgon Carbon社の業績が含まれています。

# 2018年度上期の主要施策実績

## 競争優位の 追求

- ◆光学用ポバールフィルムで、市場ニーズに合わせた設備投資を実施
  - ―倉敷事業所で新設備の投資を決定⇒3,200万m<sup>2</sup>/年、2019年末稼働予定
  - ―パイロットラインの新設⇒高機能フィルムの開発を加速
- ◆PVBフィルム韓国工場、水溶性ポバールフィルム米国工場での生産能力増強を完了
- ◆イソプレン、タイでの合併会社設立
  - ―最終投資の決定に向け作業中。新プラントは2021年以降の稼働を予定

## 新たな事業 領域の拡大

- ◆カルゴンカーボン社の買収を完了
- ◆液晶ポリマーフィルム<ベクスター>の事業化推進
  - ―需要獲得に向けた、マーケティング加速
  - ―新設備の検討
- ◆バイオマス由来のバリア材<プランティック>の事業拡大
  - ―米国シールドエア社との提携による販売強化

## グループ 総合力強化

- ◆カルゴンカーボン社との融合を推進
- ◆グローバルSAPシステムを順次導入

# 2018年度通期業績予想

※2018年5月15日公表時点から変更無し。

	18年度通期予想	17年度実績	増減
売上高	6,100億円	5,184億円	916億円
営業利益	770億円	764億円	6億円
経常利益	750億円	742億円	8億円
親会社株主に帰属 する当期純利益	490億円	545億円	▲55億円

国産ナフサ／kl

49千円

39千円

ドル（平均）

110円

112円

ユーロ（平均）

130円

127円

\*たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度実績の数値は遡及修正しています。

# 18年度の株主還元について

## ■ 「PROUD 2020」 期間中の利益還元

総還元性向：35%以上  
一株当たり配当金40円以上

## ■ 18年度配当金

中間配当：20円/株（期初予想：20円/株）  
※年間配当予想：42円/株予定（中間：20円、期末22円）

## ■ 自己株式取得について

・ 2018年度実績(2018年5月16日～6月4日)

—取得株式総数：2,200,000株 株式取得総額：3,728,894,000円

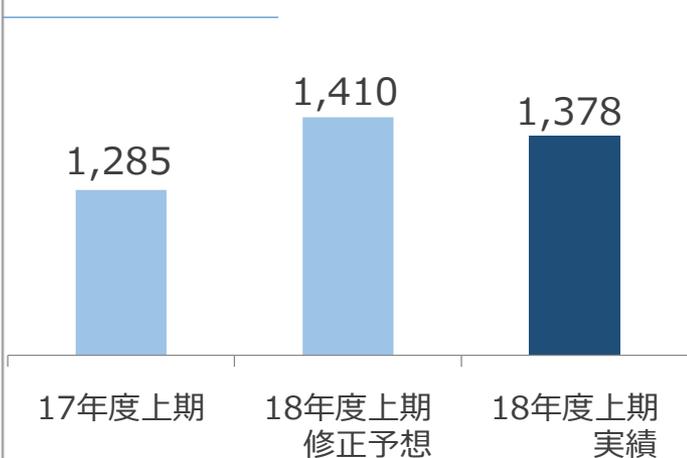
# 2018年度第2四半期決算説明

2018年8月9日

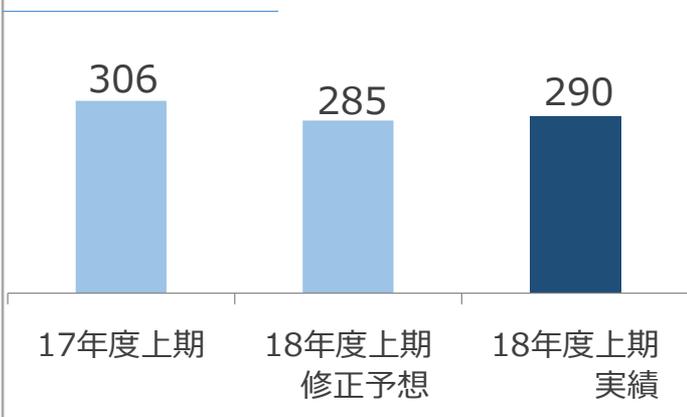
**株式会社 クラレ**

# ビニルアセテートセグメントの概要

## 売上高（億円）



## 営業利益（億円）



### ■ ポバール樹脂

昨年より本格稼働を開始した北米工場が寄与し、北米市場が順調に推移。

### ■ 光学用ポバールフィルム

需要の堅調な伸びにより、販売量が増加。倉敷事業所での新設備投資（2019年末稼働予定）を決定。

### ■ 水溶性ポバールフィルム

個包装洗剤用途を中心に数量が拡大。

### ■ PVBフィルム

販売量が増加したが、原燃料価格上昇の影響を受けた。

### ■ <エバール>

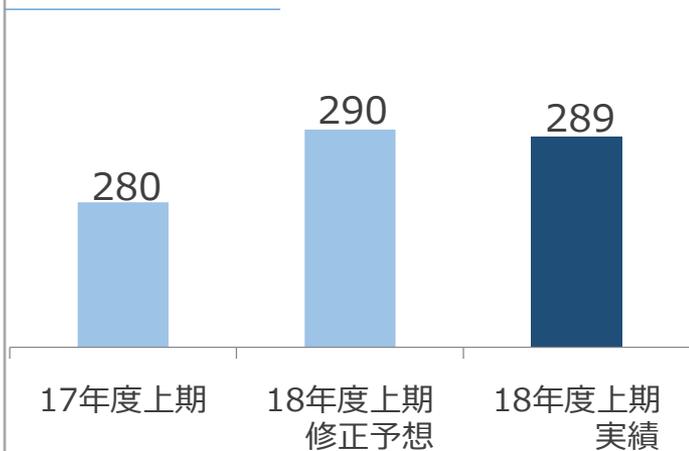
食品包装用途、自動車ガソリンタンク用途とも販売が拡大。米国工場にて定期修理及びデボトル工事を実施。

\* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度上期の数値は遡及修正しています。

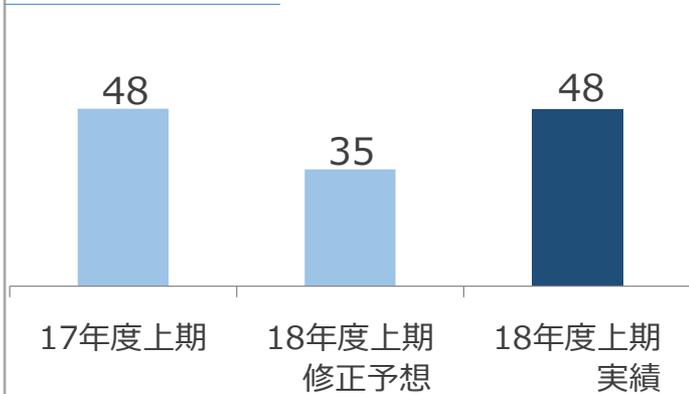
\* 有形固定資産の減価償却方法と耐用年数、及び全社共通費の配賦方法の変更により、18年度上期の営業利益はマイナスの影響を受けました。

# イソプレンセグメントの概要

## 売上高（億円）



## 営業利益（億円）



## ■ イソプレン

ファインケミカル、〈セプトン〉、液状ゴムのいずれも数量が伸長し、順調に推移。

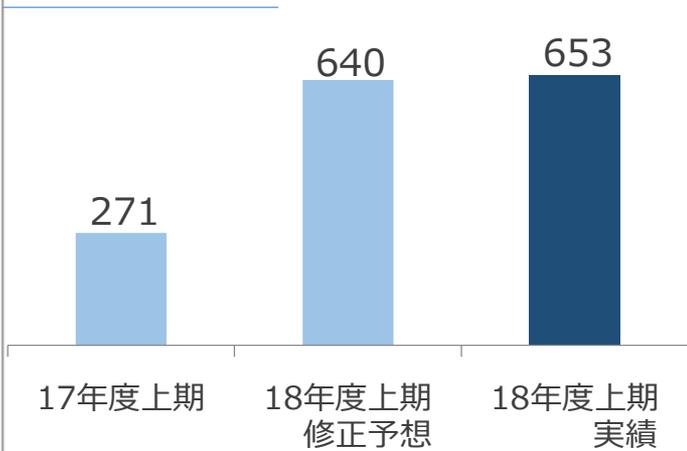
## ■ 〈ジェネスタ〉

自動車用途、コネクタ用途を中心に販売拡大も、原燃料価格上昇の影響を受けた。

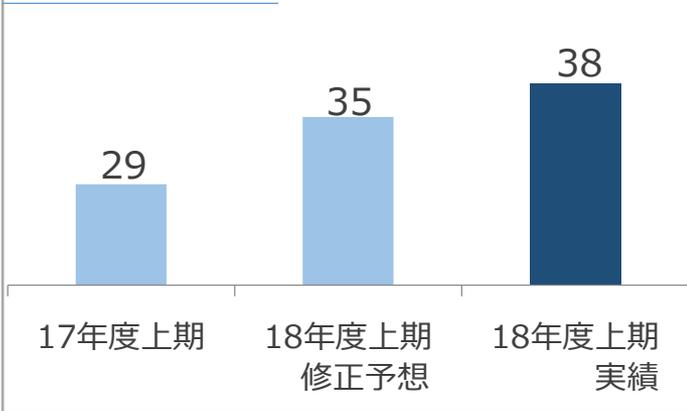
\* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度上期の数値は遡及修正しています。

# 機能材料セグメントの概要

## 売上高（億円）



## 営業利益（億円）



### ■メタクリル

好市況が継続。高付加価値品の販売が拡大。

### ■メディカル

歯科材料で、ジルコニア系製品の拡充が寄与。

### ■炭素材料

汎用用途の販売量が減少。

### ■カルゴン・カーボン

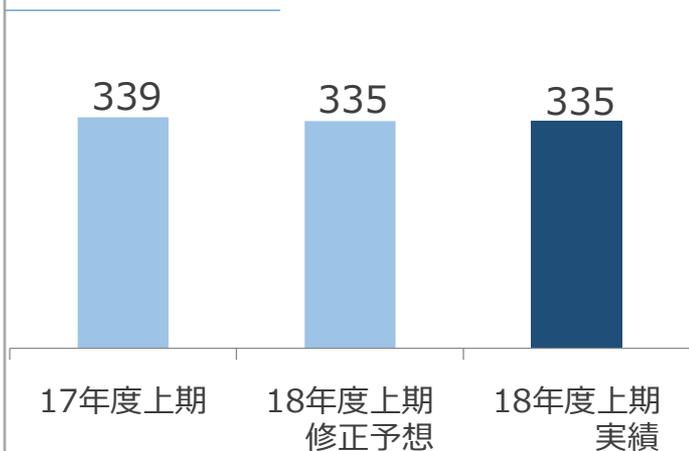
米国を中心に販売量が増加。

\* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度上期の数値は遡及修正しています。

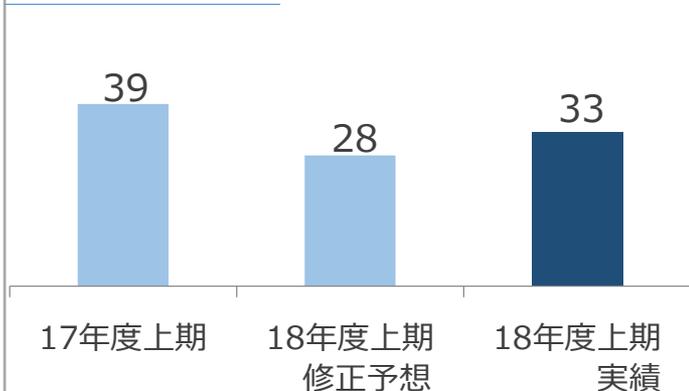
\* 18年度上期の実績にはCalgon Carbon社の業績が含まれています。

# 繊維セグメントの概要

## 売上高（億円）



## 営業利益（億円）



### ■ <クラリーノ>

ラグジュアリー商品向けの販売が拡大。

### ■ 繊維資材

ビニロンで原燃料価格上昇の影響を受けた。

### ■ 生活資材

<クラフレックス>で高付加価値製品の販売が拡大。

\* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度上期の数値は遡及修正しています。

\* 18年度1Qからの組織体制変更に伴い、17年度上期の数値には<クラリーノ>を含めています。

# セグメント別売上高・営業利益

[ 億円 ]

	18年度 上期実績		前年同期実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	1,378	290	1,285	306	93	▲16
イソプレン	289	48	280	48	9	0
機能材料	653	38	271	29	382	9
繊維	335	33	339	39	▲4	▲6
トレーディング	684	21	642	19	42	2
その他	292	7	222	12	70	▲5
調整額	▲618	▲55	▲526	▲76	▲92	21
合計	3,014	382	2,513	378	500	4

\* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度上期の数値は遡及修正しています。

# 2018年度上期キャッシュフロー

[ 億円 ]

	2018年度 上期	2017年度 上期	増減
営業CF	308	397	▲89
投資CF*	▲313	▲299	▲14
フリーCF*	▲5	98	▲103
M&A	▲1,198	0	▲1,198
設備投資(受入バース)	275	255	20
減価償却費 (のれん償却費込み)	257	203	54
研究開発費	103	102	1

\*投資CF、フリーCF：運用資金、M&A関連を除く

# 貸借対照表①(資産の部)

[ 億円 ]

	18年6月末	17年12月末	増減
流動資産	3,901	3,605	297
固定資産	5,431	4,163	1,269
資産合計	9,333	7,767	1,566

<参考> 期末日為替レート

	18.6末	17.12末
円/ドル	111	113
円/ユーロ	128	135

## 貸借対照表②(負債の部)

[ 億円 ]

	18年6月末	17年12月末	増減
流動負債	1,476	1,081	396
固定負債	2,192	1,032	1,160
負債合計	3,668	2,112	1,556
純資産合計	5,664	5,655	10
負債・純資産合計	9,333	7,767	1,566

<参考> 期末日為替レート

	18.6末	17.12末
円/ドル	111	113
円/ユーロ	128	135

# 2018年度業績予想

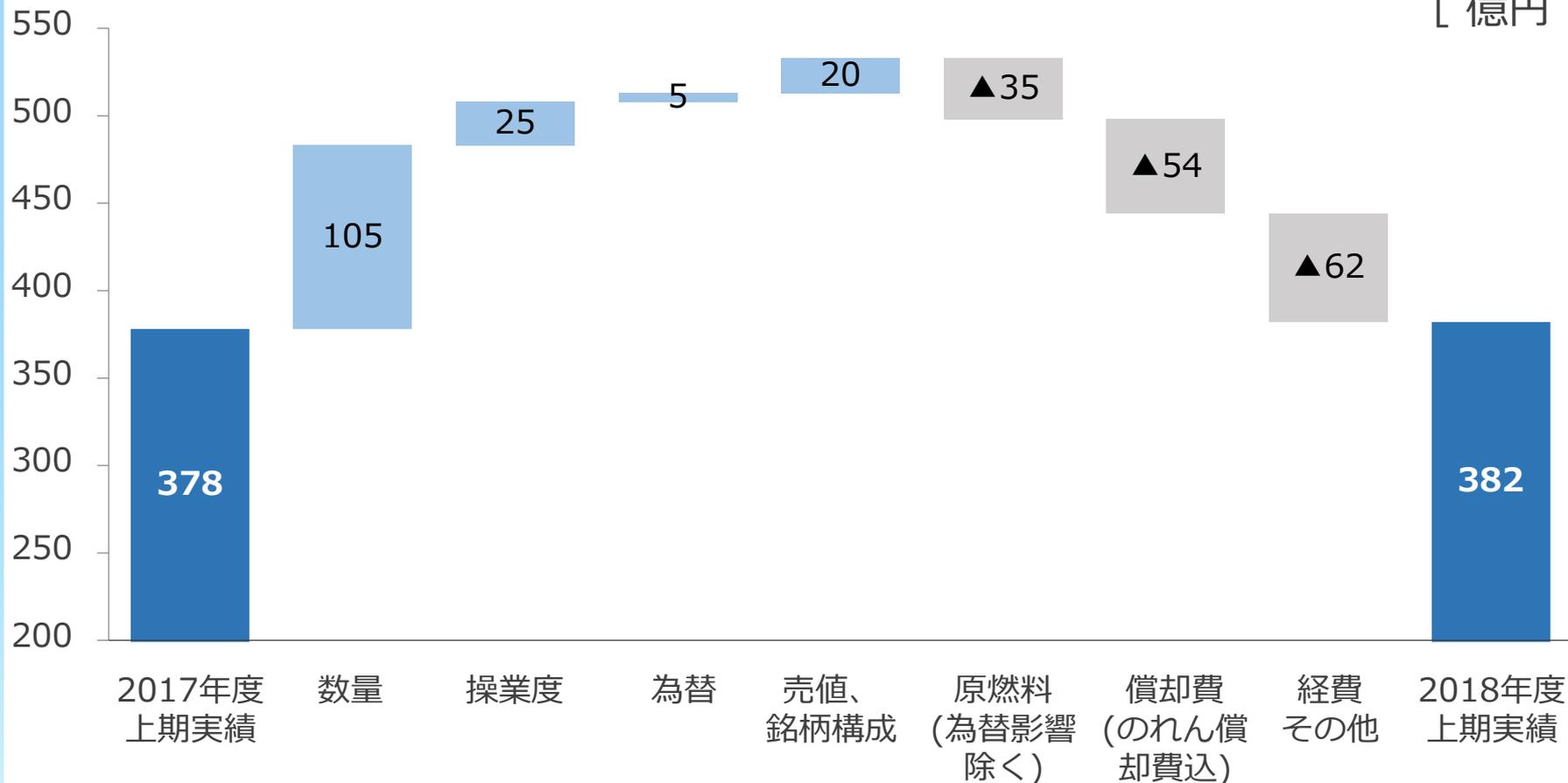
[ 億円 ]

	2018年度 通期予想	2017年度 通期実績	増減
売上高	6,100	5,184	916
営業利益	770	764	6
経常利益	750	742	8
当期純利益	490	545	▲55
1株当たり当期純利益	139円66銭	154円85銭	▲15円19銭
1株当たり配当	42円	42円	0円
設備投資(決定ベース)	1,000	547	453
設備投資(受入ベース)	600	545	55
減価償却費(のれん償却費込)	535	430	105
研究開発費	225	210	15

\* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度通期の数値は遡及修正しています。

# 18年度上期営業利益増減分析

[ 億円 ]

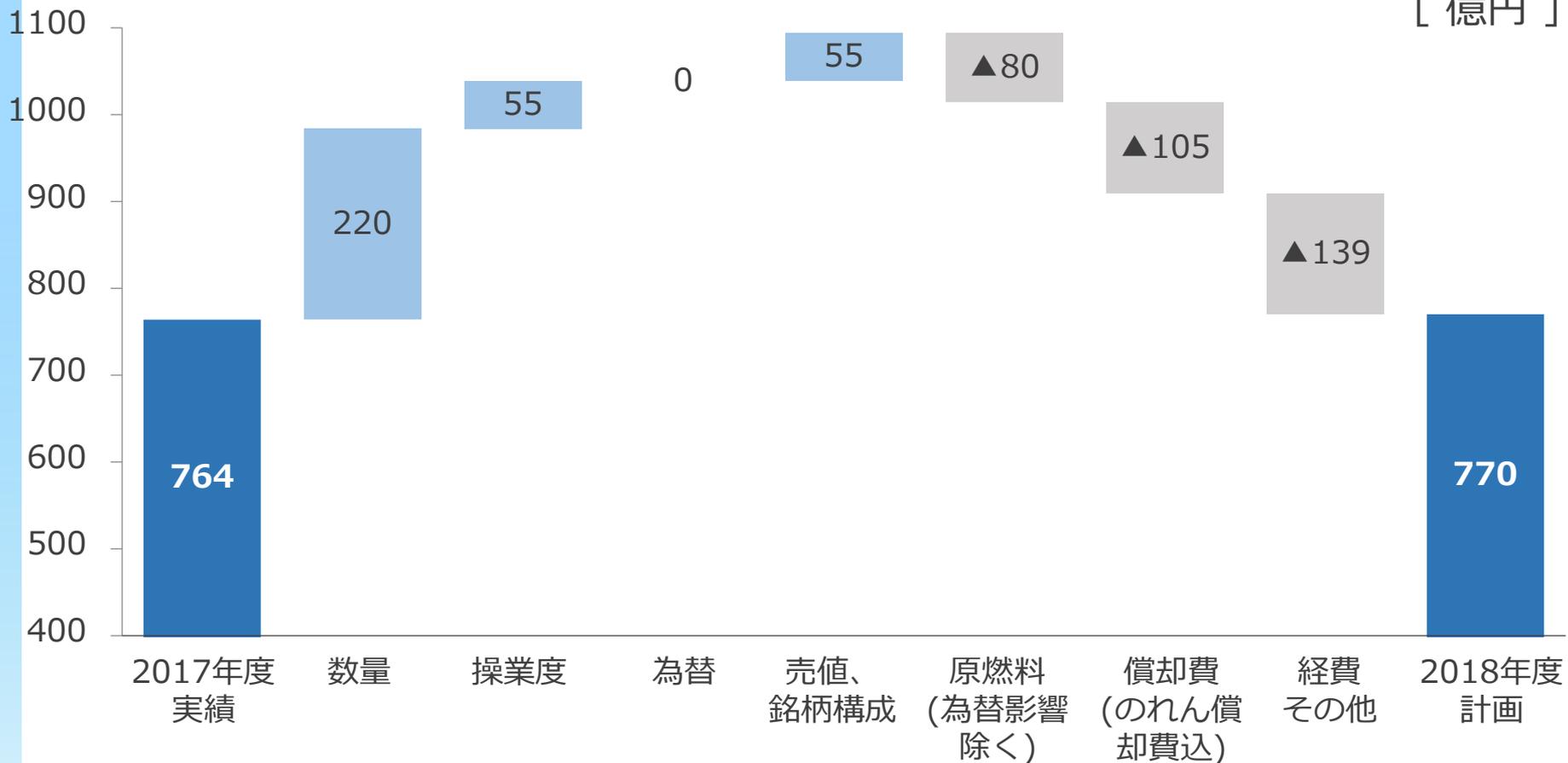


	17年度上期	18年度上期
国産ナフサ/kl	40千円	48千円
ドル (平均)	112円	109円
ユーロ (平均)	122円	132円

\* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度上期の数値は遡及修正しています。

# 18年度通期営業利益増減分析

[ 億円 ]



	17年度実績	18年度前提
国産ナフサ/kl	39千円	49千円
ドル (平均)	112円	110円
ユーロ (平均)	127円	130円

\* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度通期の数値は遡及修正しています。

# セグメント別売上高・営業利益

[ 億円 ]

	①2018年度 予想		②2018年度 変更影響額※		③2017年度 実績		増減(①－③)	
	売上高	営業利益	影響額	変更前利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	2,820	590	▲65	655	2,669	616	151	▲26
イソプレン	600	90	—	—	564	91	36	▲1
機能材料	1,310	65	—	—	552	67	758	▲2
繊維	680	70	—	—	664	75	16	▲5
トレーディング	1,350	45	—	—	1,303	39	47	6
その他	550	30	—	—	527	30	23	0
調整額	▲1,210	▲120	+65	▲185	▲1,095	▲154	▲115	34
合計	6,100	770	—	—	5,184	764	916	6

※2018年度より償却方法及び間接費配賦方法を変更しました。影響額は記載の通りです。

\* 当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の18年度業績予想と17年度組み替え実績を対比しています。

\* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度実績の数値は遡及修正しています。

## 【ご参考】 2018年度セグメント別予想

[ 億円 ]

	売上高		営業利益	
	上期実績	通期予想	上期実績	通期予想
ビニルアセテート	1,378	2,820	290	590
イソプレン	289	600	48	90
機能材料	653	1,310	38	65
繊維	335	680	33	70
トレーディング	684	1,350	21	45
その他	292	550	7	30
調整額	▲618	▲1,210	▲55	▲120
合計	3,014	6,100	382	770

# 【ご参考】セグメント別売上高予想

[ 億円 ]

	2018年度		2017年度		増減	
	上期実績	通期予想	上期実績	通期実績	上期	通期
ビニルアセテート	1,378	2,820	1,285	2,669	93	151
イソプレ	289	600	280	564	9	36
機能材料	653	1,310	271	552	382	758
繊維	335	680	339	664	▲4	16
トレーディング	684	1,350	642	1,303	42	47
その他	292	550	222	527	70	23
調整額	▲618	▲1,210	▲526	▲1,095	▲92	▲115
合計	3,014	6,100	2,513	5,184	500	916

\* 当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の18年度業績予想と17年度組み替え実績を対比しています。

## 【ご参考】セグメント別営業利益予想

[ 億円 ]

	2018年度		2017年度		増減	
	上期実績	通期予想	上期実績	通期実績	上期	通期
ビニルアセテート	290	590	306	616	▲16	▲26
イソブレン	48	90	48	91	0	▲1
機能材料	38	65	29	67	9	▲2
繊維	33	70	39	75	▲6	▲5
トレーディング	21	45	19	39	2	6
その他	7	30	12	30	▲5	0
調整額	▲55	▲120	▲76	▲154	21	34
合計	382	770	378	764	4	6

\* 当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の18年度業績予想と17年度組み替え実績を対比しています。

\* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度実績の数値は遡及修正しています。

# kuraray

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。